

ロールシャッハ・テスト入門講座 1st

ロールシャッハ・テストはスイスのヘルマン・ロールシャッハにより創案された投影（映）法心理検査です。インクのシミからできた10枚の図版について、「何に見えますか」「なぜそう見えますか」と尋ねていきます。そして出された結果を記号に置き換えて解釈し被験者の深層心理を探るのです。

この入門講座はロールシャッハ・テストが初めての方を対象にしています。3時間でロールシャッハテストの概要を知るための講座です。短い時間ですので、詳しい施工法や解釈を学ぶことはできませんが、ロールシャッハ・テストがどのようなテストか知りたいという方は受講を検討してみてください。

なぜ、日本では「片口法」と「エクスナー法」が使われているのでしょうか。両者の違いはどこにあるのでしょうか。コンピュータによる集計や解釈はできるのでしょうか。ロールシャッハ・テストと他の投影（映）法心理検査はどのような違いがあるのでしょうか。興味深いいくつかの疑問についても解説いたします。

講師はロールシャッハ・テストの経験が豊富な横山勝先生（ソンディ心理学研究所。前抱括システムによる日本ロールシャッハ学会理事、前家裁調査官）です。公認心理師資格を取得したが、ロールシャッハ・テストの学習はこれからという方には、導入の講座になると思います。

講師 横山 勝（ソンディ心理学研究所・前抱括システムによる日本
ロールシャッハ学会理事、前家裁調査官臨床心理士）

日時 2019年5月4日（土） 13:30～16:30

場所 ソンディ心理学研究所
西武池袋線「石神井公園」駅 南口徒歩2分
<http://www.szondi.jp/>

内容 ロールシャッハ・テストの概要
片口法と包括システムについて
コンピュータによる集計や解釈

参加費用 7000円（資料代込み）。定員は4名と
します。下記メールにてお申し込みください。



ソンディ心理学研究所